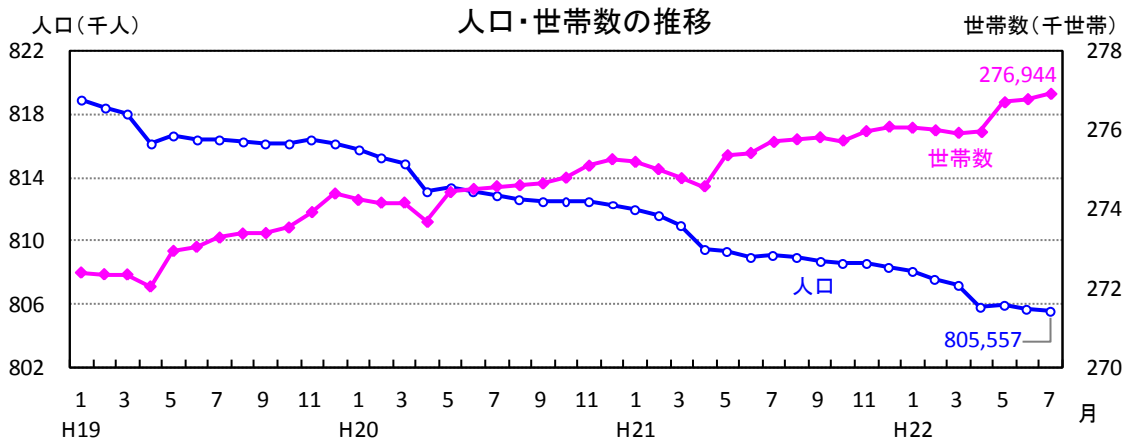


福井県月例統計指標

(平成22年8月)

1. 人口の動き

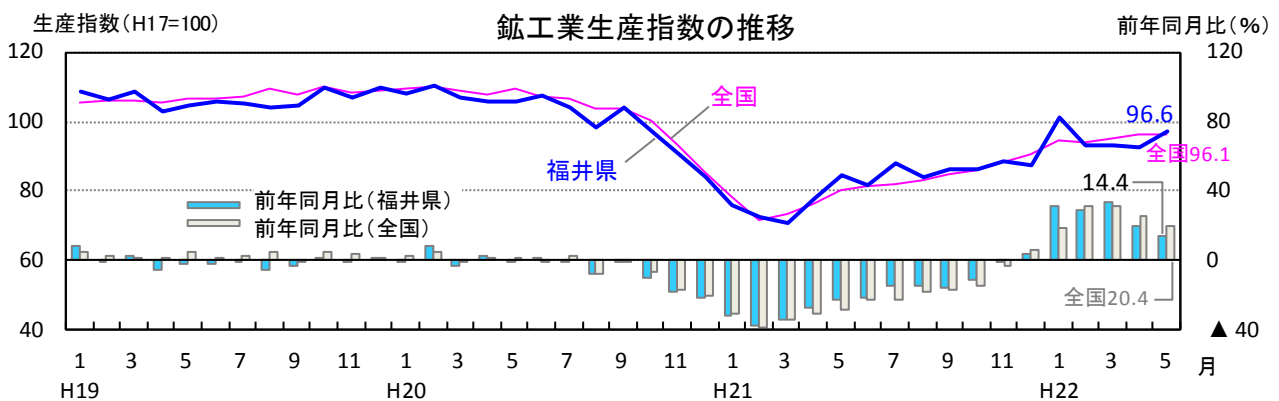
- ・平成22年7月1日現在の本県の総人口は、805,557人（男389,630人、女415,927人）で、前月から122人減少した。
- ・平成22年7月1日現在の世帯数は276,944世帯で、前月から136世帯増加した。



2. 経済指標の動き

(1) 生産

- ・5月の鉱工業生産指数(H17=100)は96.6(季節調整済)と2か月ぶりに上昇し、前年同月比は14.4%上昇と5か月連続で2桁の伸びとなった。業種別では電子部品・デバイス工業が前年同月比42.7%の上昇と、2か月連続で2桁の伸びとなった。一方、5月の全国の鉱工業生産指数(H17=100)は96.1(季節調整済)と3か月連続で上昇し、前年同月比は6か月連続でプラスとなっている。
- ・5月の在庫指数は104.0(季節調整済)となり、3か月ぶりに上昇した。



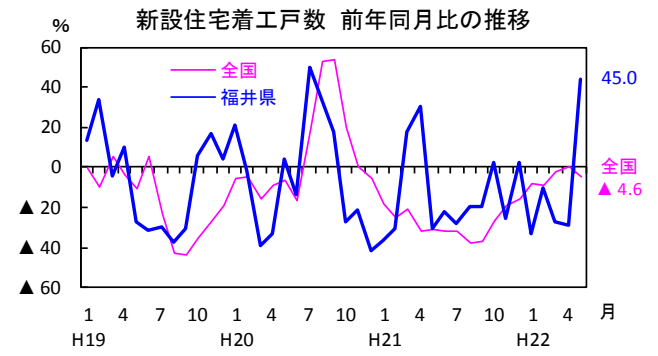
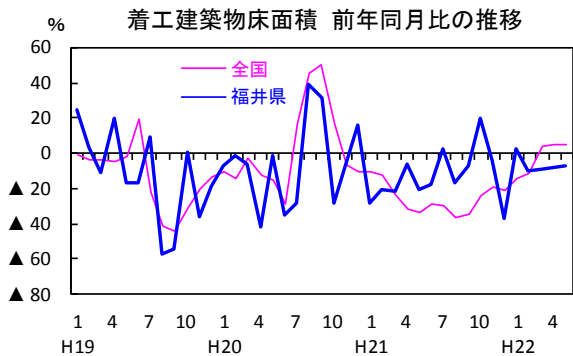
◎業種別動向

業種	鉱工業	製造工業					機械工業
		電子部品・デバイス工業	化学工業	繊維工業	機械工業		
ウエイト	10,000.0	9,994.3	1,729.8	1,284.1	1,956.6	3,581.1	
季節調整済指数	H22年4月	92.5	92.5	134.2	113.4	84.3	101.0
	H22年5月	96.6	96.5	154.4	112.7	84.2	110.8
	前月比(%)	4.4	4.3	15.1	▲0.6	▲0.1	9.7
原指数	H21年5月	77.1	77.1	96.1	113.5	70.7	77.4
	H22年5月	88.2	88.2	137.1	102.5	80.4	98.1
	前年同月比(%)	14.4	14.4	42.7	▲9.7	13.7	26.7

※機械工業＝一般機械工業＋電気機械工業＋電子部品・デバイス工業＋輸送機械工業＋精密機械工業

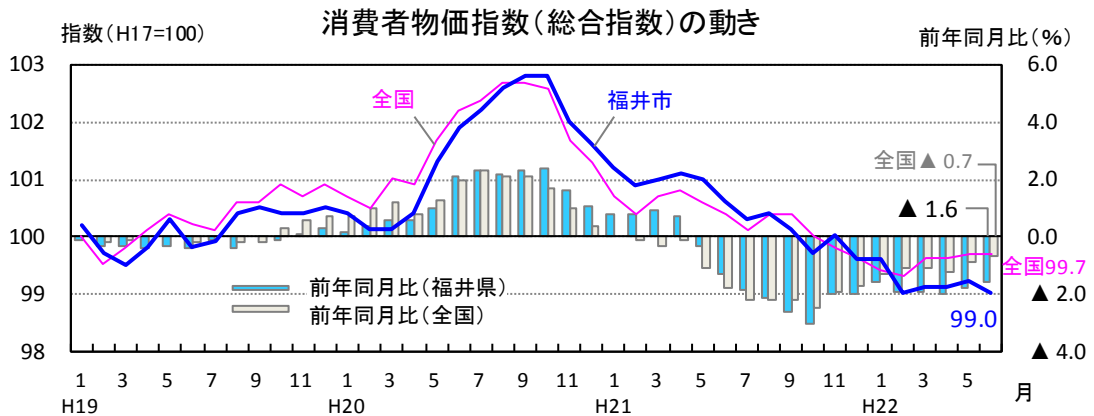
(2) 建設

- ・ 5月の公共工事請負契約額 17 億円となり、前年同月比 87.3%減となった。
- ・ 5月の新設住宅着工戸数は 445 戸で、前年同月比 45.0%増となった。



(3) 消費

・ 6月の消費者物価指数（福井市総合 H17=100）は 99.0 となり 4か月ぶりに下落した。また、前年同月比は 1.6%下落と 14 か月連続でマイナスとなったが、マイナス幅は縮小した。一方、全国消費者物価指数（H17=100）は 99.7 で、前年同月比 0.7%下落と 17 か月連続で前年を下回っている。



◎10 大費目指数の動き

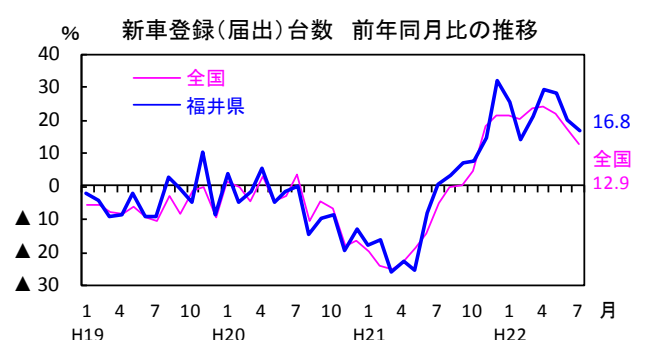
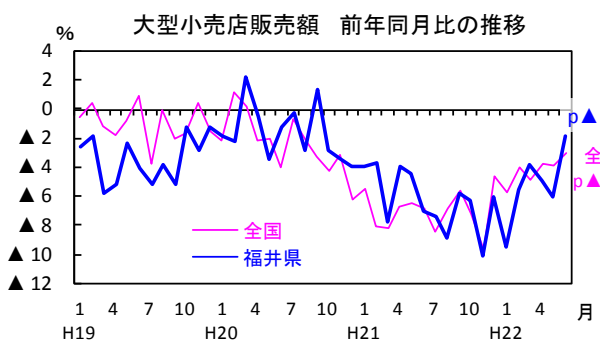
年 月	総 合	生鮮食品 除く総合	持家の帰属 家賃除く 総合	食 料	生 鮮 食 品	住 居	光 熱・ 水 道	家具・ 家 事 用 品	被 服 及 履 物	保 健 医 療	交 通 信	教 育	教 養 娛 楽	諸 雑 費
平成 22 年 6 月	99.0	98.9	99.7	103.1	101.1	96.5	103.7	93.1	109.3	99.7	98.5	87.4	90.4	100.3
前月比(%)	▲0.2	▲0.4	前月と同水準	0.4	4.1	▲0.6	前月と同水準	▲1.0	▲0.3	▲0.5	▲0.4	前月と同水準	▲0.1	▲0.5
前年同月比(%)	▲1.6	▲1.9	▲1.6	▲2.5	4.0	▲1.4	0.8	▲1.7	▲2.5	0.6	1.0	▲15.6	▲2.6	▲0.1

・ 6月の大型小売店販売額（速報値）は 6,112 百万円で、前年同月比は 1.9%減（既存店ベース）と 21 か月連続のマイナスとなった。

参考：石川県 13,859 百万円（前年同月比 0.8%増（既存店ベース））、富山県 9,760 百万円（同 1.9%減）

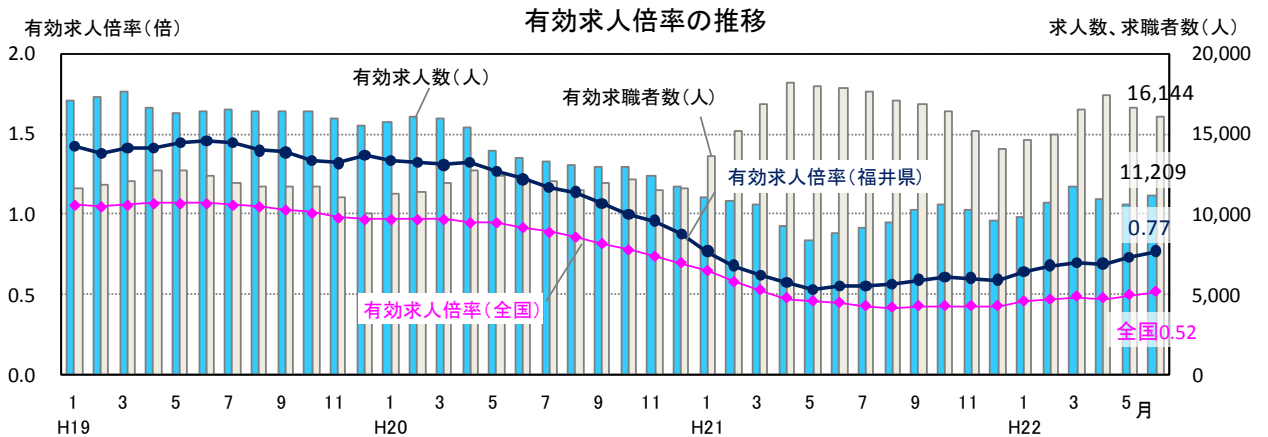
資料：中部経済産業局「管内大型小売店販売概況（平成 22 年 6 月速報）」

・ 7月の新車登録（届出）台数は 4,019 台で、前年同月比 16.8%増と 13 か月連続で前年を上回った。
〔内訳：普通車 2,492 台（前年同月比 22.3%増）、軽自動車 1,527 台（同 8.9%増）〕

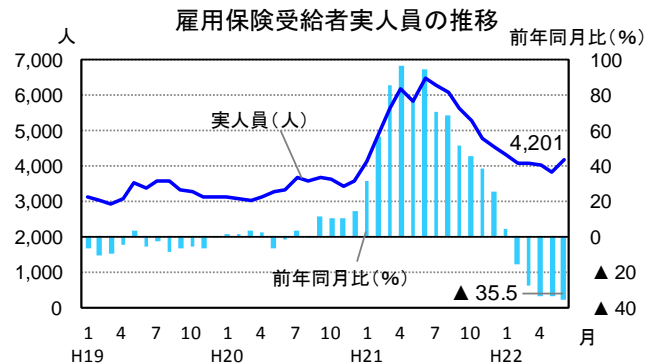
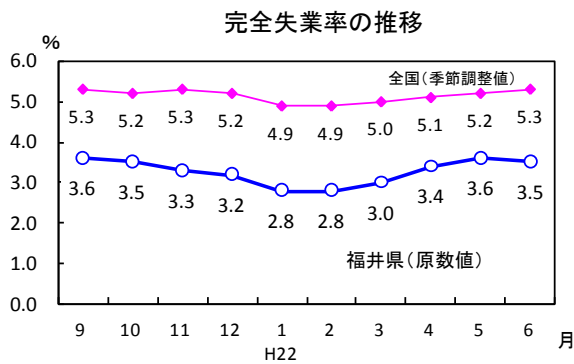


(4) 労働

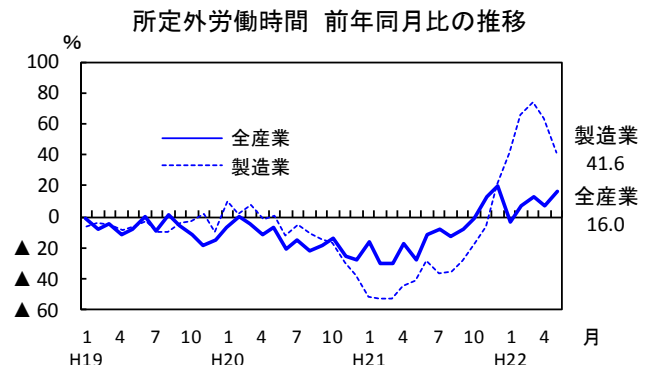
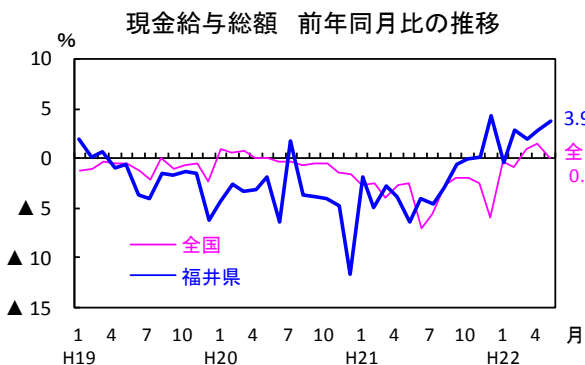
- ・ 6月の有効求人倍率（季節調整値、パートを含む）は0.77倍となり、2か月連続で上昇した。一方、全国の有効求人倍率（同）は0.52倍となり、同じく2か月連続で上昇した。



- ・ 6月の県内の完全失業率は3.5%（原数値）となり、5か月ぶりに低下した。
- ・ 6月の雇用保険受給者実人員は4,201人で、12か月ぶりに増加した。一方、前年同月比は35.5%減となり、5か月連続でマイナスとなった。

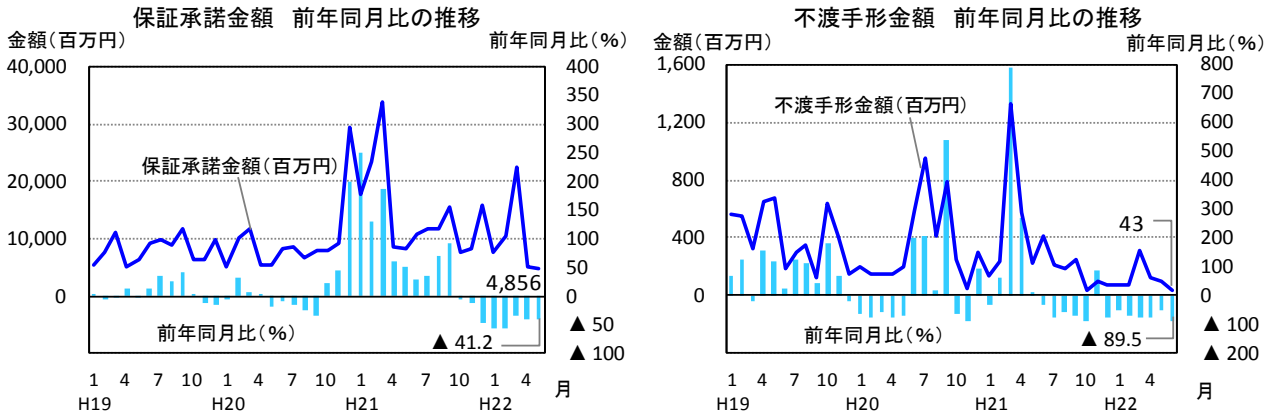


- ・ 5月の現金給与総額は250,724円で、前年同月比は3.9%増（指数による算出）と前月より1.0ポイント改善し、4か月連続で前年を上回った。
- ・ 5月の所定外労働時間は8.0時間で、前年同月比16.0%増（同）となり、4か月連続で前年を上回った。また、製造業の所定外労働時間は10.9時間で、前年同月比は41.6%増と6か月連続で2桁の伸びとなった。
- ・ 5月の常用労働者数は290,899人で、前年同月比1.0%増（同）となった。



(5) 金融

- ・ 5月の保証承諾金額は48億5千6百万円で、前年同月比41.2%減と8か月連続で前年を下回った。
- ・ 6月の不渡手形金額は4千3百万円で、前年同月比89.5%減となった。
- ・ 6月の企業倒産は4件で前月比1件減となり、12か月連続で1桁にとどまった。また、負債総額は3億2千7百万円で前月比6億6千5百万円減、前年同月比21億8千1百万円減となった。

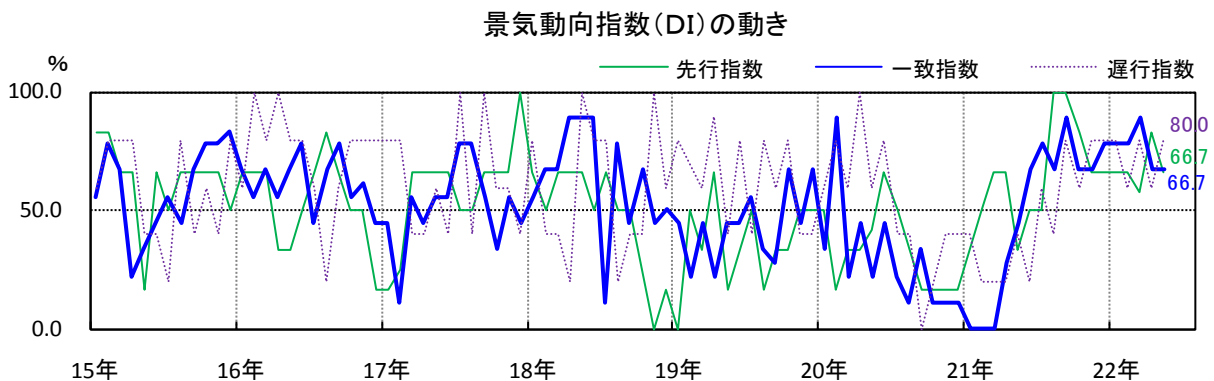


(6) 景気動向 (福井県の景気動向指数 平成22年5月分)

生産が緩やかな回復傾向にある中、雇用にも改善の動きがみられるなど、景気が引き続き持ち直してきていることを示している。(据置き)

5月の景気動向指数 (DI) : 先行指数 66.7%、一致指数 66.7%、遅行指数 80.0%

- ・ 先行指数 (景気の動きを予測) は、10か月連続で50%を上回った。
- ・ 一致指数 (景気の動きとほぼ一致) は、12か月連続で50%を上回った。
- ・ 遅行指数 (景気の転換点や局面の確認) は、9か月連続で50%を上回った。



◇内閣府経済社会総合研究所 平成22年5月分 平成22年7月20日改訂

- ・ 5月の全国の景気動向指数 (DI) は、先行指数 54.5%、一致指数 90.0%、遅行指数 40.0%となり、景気動向指数 (CI H17=100) は、先行指数 98.6、一致指数 101.2、遅行指数 83.4 となった。
- ・ 基調判断: 「景気動向指数 (CI 一致指数) は、改善を示している。」



10月1日に
「平成22年国勢調査」を実施します。

我が国に住んでいるすべての人を対象とする
国の最も基本的な統計調査です。
詳しくは巻末15ページをご覧ください。



福 井 県 の 主 要 指 標

【金融】

年 月	信用保証								手形交換	不渡手形			企業倒産		
	保証 承 諾				保証債務										
	金額	前年度比	運転資金	前年度比	設備資金	前年度比	残高	前年度比		金額	金額	前年比	件数	負債額	前年比
年(年度)	百万円 (年度)	%	百万円 (年度)	%	百万円 (年度)	%	百万円 (年度)	%	百万円	百万円	%	件	百万円	%	
平成 12	135,072	△ 2.0	122,186	△ 0.3	12,887	△ 15.7	355,125	0.7	1,482,099	5,557	7.0	140	29,529	29.8	
13	134,110	△ 0.7	123,104	0.8	11,006	△ 14.6	345,381	△ 2.7	1,345,545	5,588	0.6	141	33,413	13.2	
14	142,477	6.2	132,977	8.0	9,501	△ 13.7	332,476	△ 3.7	1,223,598	4,781	△ 14.4	159	42,191	26.3	
15	134,279	△ 5.8	125,414	△ 5.7	8,865	△ 6.7	316,823	△ 4.7	1,108,153	4,249	△ 11.1	149	57,672	36.7	
16	104,898	△ 21.9	94,467	△ 24.7	10,432	17.7	305,086	△ 3.7	1,087,706	2,814	△ 33.8	95	22,305	△ 61.3	
17	86,950	△ 17.1	79,708	△ 15.6	7,242	△ 30.6	276,398	△ 9.4	1,080,887	1,570	△ 44.2	70	12,483	△ 44.0	
18	90,579	4.2	82,003	2.9	8,577	18.4	262,033	△ 5.2	1,072,694	2,730	73.9	94	25,217	102.0	
19	101,335	11.9	93,744	14.3	7,592	△ 11.5	251,382	△ 4.1	997,916	4,942	81.0	135	30,884	22.5	
20	163,909	61.7	157,863	68.4	6,046	△ 20.4	292,652	16.4	938,061	4,193	△ 15.1	134	51,337	66.2	
21	138,778	△ 15.3	133,870	△ 15.2	4,909	△ 18.8	308,313	5.4	758,444	3,793	△ 9.6	104	37,664	△ 26.6	
18年 1月	5,110	△ 10.6	4,737	△ 9.3	374	△ 23.7	279,602	△ 9.5	106,266	340	242.3	9	1,734	△ 60.8	
2	8,073	14.8	7,676	18.5	398	△ 28.1	278,079	△ 9.5	86,556	241	225.5	5	1,265	169.1	
3	11,312	11.2	10,357	8.6	955	49.6	276,398	△ 9.4	97,060	381	258.2	6	1,621	88.3	
4	4,490	18.1	4,143	19.7	347	1.9	274,997	△ 8.8	69,182	255	234.6	12	2,480	1,309.1	
5	6,537	11.1	5,949	7.8	588	60.6	271,746	△ 8.9	121,201	315	141.6	11	971	165.3	
6	8,016	△ 1.3	7,097	△ 1.5	919	△ 0.4	271,268	△ 8.3	88,685	153	92.9	10	5,307	17,590.0	
7	7,343	12.9	6,514	10.0	830	42.4	270,699	△ 8.2	84,589	135	53.9	7	1,770	5.1	
8	7,018	9.7	6,431	14.6	588	△ 25.3	268,227	△ 8.1	91,440	164	△ 29.4	6	5,975	851.4	
9	8,395	△ 5.9	7,479	△ 8.5	916	22.9	267,040	△ 7.7	62,505	87	△ 66.8	3	662	△ 54.5	
10	6,182	△ 7.2	5,375	△ 11.8	807	43.1	265,070	△ 7.4	109,836	226	103.0	7	640	10.7	
11	7,226	8.4	6,553	6.5	672	31.1	263,415	△ 7.4	83,107	244	110.7	9	774	△ 46.9	
12	11,358	19.7	10,421	18.5	937	34.7	265,343	△ 6.2	72,268	188	△ 3.8	9	2,018	466.9	
19年 1月	5,338	4.4	4,914	3.7	423	13.3	262,799	△ 6.0	103,695	565	66.0	9	3,371	94.4	
2	7,587	△ 6.0	6,920	△ 9.9	668	67.9	261,802	△ 5.9	82,739	547	126.8	8	2,520	99.2	
3	11,089	△ 2.0	10,207	△ 1.4	882	△ 7.6	262,033	△ 5.2	62,424	321	△ 15.8	18	2,862	76.6	
4	5,184	15.5	4,537	9.5	647	86.4	261,588	△ 4.9	91,016	651	155.3	25	6,309	154.4	
5	6,572	0.5	6,033	1.4	538	△ 8.5	260,061	△ 4.3	113,372	681	116.4	11	2,866	195.2	
6	9,162	14.3	8,211	15.7	952	3.5	257,967	△ 4.9	59,714	194	26.9	10	1,869	△ 64.8	
7	10,015	36.4	9,433	44.8	582	△ 29.9	258,143	△ 4.6	105,566	308	127.3	9	1,802	1.8	
8	8,953	27.6	8,357	30.0	596	1.5	257,340	△ 4.1	82,609	347	111.5	12	2,594	△ 56.6	
9	11,869	41.4	11,075	48.1	793	△ 13.4	256,700	△ 3.9	56,414	124	43.2	5	1,051	58.8	
10	6,485	4.9	5,854	8.9	631	△ 21.9	256,509	△ 3.2	102,297	633	179.9	15	3,301	415.8	
11	6,344	△ 12.2	5,880	△ 10.3	463	△ 31.1	253,899	△ 3.6	76,888	414	69.7	10	1,527	97.3	
12	9,758	△ 14.1	8,686	△ 16.6	1,072	14.4	253,653	△ 4.4	61,182	156	△ 17.0	3	812	△ 59.8	
20年 1月	5,054	△ 5.3	4,709	△ 4.2	345	△ 18.5	251,572	△ 4.3	106,249	202	△ 64.2	9	832	△ 75.3	
2	10,184	34.2	9,755	41.0	429	△ 35.8	251,072	△ 4.1	78,618	148	△ 72.9	11	1,892	△ 24.9	
3	11,757	6.0	11,213	9.9	544	△ 38.3	251,382	△ 4.1	81,798	149	△ 53.5	10	25,004	773.7	
4	5,342	3.1	4,907	8.2	434	△ 32.8	250,691	△ 4.2	85,229	157	△ 75.9	7	1,169	△ 81.5	
5	5,402	△ 17.8	4,872	△ 19.2	529	△ 1.7	247,786	△ 4.7	59,163	195	△ 71.3	11	1,652	△ 42.4	
6	8,281	△ 9.6	7,775	△ 5.3	506	△ 46.8	246,806	△ 4.3	98,107	584	200.4	9	1,418	△ 24.1	
7	8,509	△ 15.0	7,569	△ 19.8	939	61.5	246,722	△ 4.4	76,744	949	208.5	16	9,174	409.1	
8	6,869	△ 23.3	6,393	△ 23.5	475	△ 20.3	246,285	△ 4.3	53,936	415	19.6	6	1,508	△ 41.9	
9	8,025	△ 32.4	7,571	△ 31.6	454	△ 42.8	244,959	△ 4.6	97,538	790	535.2	17	2,408	129.1	
10	8,056	24.2	7,503	28.2	553	△ 12.2	245,133	△ 4.4	75,411	251	△ 60.4	15	3,029	△ 8.2	
11	9,161	44.4	8,826	50.1	335	△ 27.6	244,918	△ 3.5	48,338	56	△ 86.6	11	914	△ 40.1	
12	29,228	199.5	28,737	230.8	491	△ 54.2	256,491	1.1	76,928	298	90.8	12	2,337	187.8	
21年 1月	17,747	251.2	17,453	270.7	293	△ 15.0	262,213	4.2	68,193	142	△ 30.0	10	1,003	20.6	
2	23,541	131.2	23,305	138.9	236	△ 44.9	273,680	9.0	69,055	243	63.9	7	15,445	716.3	
3	33,749	187.1	32,950	193.9	799	46.8	292,652	16.4	93,981	1,326	788.5	9	1,646	△ 93.4	
4	8,629	61.5	8,389	70.9	241	△ 44.5	297,554	18.7	71,644	581	271.1	12	2,432	108.0	
5	8,256	52.8	7,771	59.5	485	△ 8.4	297,410	20.0	44,574	223	14.4	11	2,394	44.9	
6	10,842	30.9	10,489	34.9	353	△ 30.3	297,953	20.7	76,542	414	△ 29.1	10	2,508	76.9	
7	11,657	37.0	11,047	46.0	609	△ 35.1	300,120	21.6	65,779	215	△ 77.4	8	1,056	△ 88.5	
8	11,771	71.4	11,515	80.1	255	△ 46.3	302,053	22.6	57,675	187	△ 54.9	6	854	△ 43.4	
9	15,571	94.0	15,242	101.3	329	△ 27.5	303,919	24.1	55,762	248	△ 68.6	6	5,760	139.2	
10	7,539	△ 6.4	7,157	△ 4.6	383	△ 30.8	305,286	24.5	39,589	39	△ 84.4	9	1,551	△ 48.8	
11	8,218	△ 10.3	7,849	△ 11.1	368	9.9	304,477	24.3	68,972	103	84.6	7	1,142	24.9	
12	15,777	△ 46.0	14,955	△ 48.0	821	67.2	306,167	19.4	46,676	72	△ 75.7	9	1,873	△ 19.9	
22年 1月	7,595	△ 57.2	7,450	△ 57.3	145	△ 50.7	304,312	16.1	55,599	74	△ 47.8	4	719	△ 28.3	
2	10,516	△ 55.3	10,176	△ 56.3	340	43.8	304,625	11.3	55,523	80	△ 66.9	9	4,247	△ 72.5	
3	22,408	△ 33.6	21,829	△ 33.8	579	△ 27.5	308,313	5.4	83,249	309	△ 76.7	9	997	△ 39.4	
4	5,245	△ 39.2	5,055	△ 39.7	190	△ 21.3	309,573	4.0	64,660	132	△ 77.4	6	1,461	△ 39.9	
5	4,856	△ 41.2	4,649	△ 40.2	207	△ 57.3	306,171	2.9	60,425	105	△ 52.8	5	992	△ 58.6	
6	…	…	…	…	…	…	…	…	59,894	43	△ 89.5	4	327	△ 87.0	
7	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	
前月比(%)	△ 7.4	-	△ 8.0	-	9.3	-	△ 1.1	-	△ 0.9	△ 58.9	-	-	△ 67.0	-	
前年同月比	△ 41.2	-	△ 40.2	-	△ 57.3	-	2.9	-	△ 21.8	△ 89.5	-	-	△ 87.0	-	
資料出所	福井県信用保証協会 「保証月報」 ※保証債務残高の年度値は各年度3月末現在								福井手形交換所			東京商工リサーチ福井支店 ※負債額1千万円以上			

福 井 県 の 主 要 指 標

【景気動向】

年 月	景気動向指数 (DI)		
	先行指数	一致指数	遅行指数
年(年度)	%	%	%
平成 12	-	-	-
13	-	-	-
14	-	-	-
15	-	-	-
16	-	-	-
17	-	-	-
18	-	-	-
19	-	-	-
20	-	-	-
21	-	-	-
<hr/>			
年 月			
18年 1月	66.7	55.6	80.0
2	50.0	66.7	40.0
3	66.7	66.7	40.0
4	66.7	88.9	20.0
5	66.7	88.9	100.0
6	50.0	88.9	80.0
7	66.7	11.1	80.0
8	50.0	77.8	20.0
9	50.0	44.4	40.0
10	25.0	66.7	40.0
11	0.0	44.4	100.0
12	16.7	50.0	60.0
19年 1月	0.0	44.4	80.0
2	50.0	22.2	70.0
3	33.3	44.4	60.0
4	66.7	22.2	90.0
5	16.7	44.4	40.0
6	33.3	44.4	80.0
7	50.0	55.6	40.0
8	16.7	33.3	80.0
9	33.3	27.8	60.0
10	33.3	66.7	80.0
11	50.0	44.4	40.0
12	50.0	66.7	40.0
20年 1月	50.0	33.3	60.0
2	16.7	88.9	80.0
3	33.3	22.2	60.0
4	33.3	44.4	100.0
5	41.7	22.2	60.0
6	66.7	44.4	80.0
7	50.0	22.2	40.0
8	33.3	11.1	40.0
9	16.7	33.3	0.0
10	16.7	11.1	20.0
11	16.7	11.1	40.0
12	16.7	11.1	40.0
21年 1月	33.3	0.0	40.0
2	50.0	0.0	20.0
3	66.7	0.0	20.0
4	66.7	27.8	20.0
5	33.3	44.4	40.0
6	50.0	66.7	20.0
7	50.0	77.8	60.0
8	100.0	66.7	40.0
9	100.0	88.9	80.0
10	83.3	66.7	60.0
11	66.7	66.7	80.0
12	66.7	77.8	80.0
22年 1月	66.7	77.8	80.0
2	66.7	77.8	60.0
3	58.3	88.9	80.0
4	83.3	66.7	60.0
5	66.7	66.7	80.0
6
7
前月比(%)	-	-	-
前年同月比	-	-	-
資料出所	県政策統計課 「福井県の景気動向指数」 *採用しているすべての系列が公表されて いない月には、指数の値にPを付けて いる。		

用語の説明

【生産】

・ 鉱工業指数

鉱工業の生産活動の水準と動向をみる指標で、生産・出荷・在庫を数量面からとらえ指数化したもの。
なお、月別の数値は季節調整済指数である。

・ 織物生産

調査範囲：従業者 10 人以上のものおよび経済産業大臣の指定するもの。

織物生産月報を提出しなければならない 2 以上の工場を有する企業（本社）であって、
原材料または製品を保有するもの。

【消費】

・ 家計（福井市勤労者世帯）

平均消費性向（％）＝消費支出÷可処分所得×100

・ 大型小売店販売額（百貨店およびスーパー）

百貨店およびスーパーとは、従業者 50 人以上の小売商店であって次に該当するもの。

（1）百貨店：日本標準産業分類の百貨店のうち（2）のスーパーに該当しない商店であって、
かつ売場面積が 1,500 m²以上の商店。

（2）スーパー：売り場面積が 1,500 m²以上で、その 50%以上において、セルフサービス方式を採用
している商店。

なお、前年同月比は店舗調整後の値（既存店ベース）。店舗調整とは、調査対象商店の定義変更およ
び移動があった場合、前年同月比を調査対象となった商店のみで算出すること。

・ 新車登録台数：軽自動車を含む自動車の新車販売台数。

【労働】

・ 労働市場月報 数値は一般職業紹介状況で、新規学卒を除きパートを含む。

有効求人倍率（原数値）＝月間有効求人数÷月間有効求職者数

新規求人倍率（原数値）＝新規求人数÷月間新規求職者数

就職率（％）＝就職件数÷月間有効求職者数×100

・ 福井県労働状況調査

完全失業率（％）（原数値）＝完全失業者数÷労働力人口（就業者と完全失業者の合計）×100

※「3 か月後方移動平均」（公表対象の月とその前月、前々月の計 3 か月の平均値）を使用。

<参考>総務省「労働力調査」における完全失業率の都道府県別結果（モデル推計値）

労働力調査は都道府県別の推計を前提とした標本抽出を行っておらず標本規模も小さいことなどにより、全国結果
に比べ結果精度を確保できないことから、都道府県別結果については、平成 18 年 5 月より時系列回帰モデルを用いて
統計学的処理した「モデル推計値」として平成 9 年以降の四半期平均および年平均結果が公表されている。詳しくは、
総務省統計局ホームページより「都道府県別結果の新たな統計的手法による推計（時系列回帰モデルによる推計）に
ついて」を参照されたい。

URL：<http://www.stat.go.jp/data/roudou/pref/pdf/02.pdf>

・ 毎月勤労統計調査 数値は常用労働者を常時 30 人以上雇用する第一種事業所のもの。

現金給与総額・総労働時間 … 常用労働者一人平均

【景気動向指数】

景気動向指数は、生産、雇用など様々な経済活動での重要かつ景気に敏感な指標の動きを統合すること
によって、景気の現状把握及び将来予測に資するために作成された統合的な景気指標であり、DI(Diffusion
Index)と CI(Composite Index)がある。

DIは、採用系列のうち、3 か月前と比較して拡張した系列の割合を示す(DI＝拡張系列数／採用系列数
×100(％)) ことにより、景気の広がりを見る指標であるのに対し、CIは各指標の前月比の変化量を合成
することにより、景気のテンポ(量感)を測定する指標である。

(注) r＝改訂値 p＝速報値

前月比・前年同月比は、単位未満を端数処理する前の数値で計算している。

(参考)

全国および北陸の経済概況

○全国 【内閣府「月例経済報告」より抜粋】

今 回 (平成22年7月21日)	前 回 (平成22年6月18日)
<p>景気は、着実に持ち直してきており、自律的回復への基盤が整いつつあるが、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。</p> <p>個人消費は、持ち直している。設備投資は、下げ止まっている。住宅建設は、持ち直してきたが、このところ横ばいとなっている。公共投資は、総じて低調に推移している。輸出は、緩やかに増加している。輸入は、緩やかに持ち直している。貿易・サービス収支の黒字は、横ばいとなっている。</p> <p>生産は、持ち直している。企業収益は、改善している。企業の業況判断は、改善している。ただし、中小企業を中心に先行きに慎重な見方となっている。倒産件数は、おおむね横ばいとなっている。雇用情勢は、依然として厳しいものの、このところ持ち直しの動きがみられる。</p> <p>国内企業物価は、緩やかに上昇している。消費者物価は、緩やかな下落が続いている。株価(日経平均株価)は、10,200円台から9,100円台まで下落した後、9,700円台まで上昇し、その後9,400円台まで下落している。対米ドル円レートは、90円台から87円台まで円高方向で推移した後、89円台まで円安方向で推移し、その後87円台まで円高方向で推移している。</p> <p>先行きについては、当面、雇用情勢に厳しさが残るものの、海外経済の改善や緊急経済対策を始めとする政策の効果などを背景に、企業収益の改善が続くなかで、景気が自律的な回復へ向かうことが期待される。一方、アメリカ・欧州を中心とした海外景気の下振れ懸念、金融資本市場の変動やデフレの影響など、景気を下押しするリスクが存在することに留意する必要がある。また、雇用情勢の悪化懸念が依然残っていることにも注意が必要である。</p>	<p>景気は、着実に持ち直してきており、自律的回復への基盤が整いつつあるが、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。</p> <p>個人消費は、持ち直している。設備投資は、下げ止まっている。住宅建設は、持ち直してきたが、このところ横ばいとなっている。公共投資は、総じて低調に推移している。輸出は、緩やかに増加している。輸入は、緩やかに持ち直している。貿易・サービス収支の黒字は、横ばいとなっている。</p> <p>生産は、持ち直している。企業収益は、改善している。また、企業の業況判断は、改善している。ただし、中小企業では先行きに慎重な見方となっている。倒産件数は、おおむね横ばいとなっている。雇用情勢は、依然として厳しいものの、このところ持ち直しの動きがみられる。</p> <p>国内企業物価は、緩やかに上昇している。消費者物価は、緩やかな下落が続いている。株価(日経平均株価)は、9,900円台まで上昇した後、9,400円台まで下落し、その後10,000円台まで上昇している。対米ドル円レートは、90円台から92円台まで円安方向で推移した後、91円台で推移している。</p> <p>先行きについては、当面、雇用情勢に厳しさが残るものの、海外経済の改善や緊急経済対策を始めとする政策の効果などを背景に、企業収益の改善が続くなかで、景気が自律的な回復へ向かうことが期待される。一方、欧州を中心とした海外景気の下振れ懸念、金融資本市場の変動やデフレの影響など、景気を下押しするリスクが存在することに留意する必要がある。また、雇用情勢の悪化懸念が依然残っていることにも注意が必要である。</p>

○北陸 【日本銀行金沢支店「北陸の金融経済月報」より抜粋】

今 回 (平成22年7月6日)	前 回 (平成22年6月9日)
<p>北陸の景気は、依然として厳しい面もみられるが、着実に持ち直している。</p> <p>最終需要をみると、公共投資は減少しているものの、輸出は中国等アジア向けを中心に増勢が強まっている。設備投資は下げ止まっているほか、住宅投資は下げ止まりつつある。個人消費も、低調ながらも政策効果等から下げ止まりつつある。</p> <p>こうした中、当地製造業の生産は、中国等アジア向けを中心に輸出が増勢を強めていることなどから、業種の広がりも伴って増加している。業種別にみると、主力の電気機械(デジタル家電・携帯電話関連の電子部品等)は中国・韓国向けの輸出を中心に一段と増加しており、化学も医薬品を中心に増加が続いている。また、一般機械や鉄鋼・非鉄は持ち直しており、金属製品も低水準ながら幾分持ち直している。繊維は低水準で推移している。</p> <p>この間、企業収益は低水準ながら改善している。また、雇用・所得は依然として厳しい状況にあるが、労働需給は緩やかに持ち直す動きが続いている。</p> <p>先行きは、輸出や生産の着実な増加が、徐々に国内民間需要に波及していくと見込まれることから、全体として緩やかに回復に向かうとみられる。もっとも、雇用・所得環境の厳しさは当面続くこととみられるほか、海外経済の不確実性についても注意が必要なため、引き続き慎重にみていく必要がある。</p>	<p>北陸の景気は、依然として厳しい状況にあるが、緩やかに持ち直している。</p> <p>最終需要をみると、公共投資は減少しているものの、輸出は中国等アジア向けを中心に増加が続いている。個人消費は、全体としては弱い状況にあるが、一部には政策効果から持ち直しの動きが続いている。また、設備投資、住宅投資は下げ止まりつつある。</p> <p>こうした中、当地製造業の生産は、中国等アジア向けを中心とした輸出の増加に支えられ、業種の広がりも伴いつつ着実に持ち直している。業種別にみると、主力の電気機械(デジタル家電・携帯電話関連の電子部品等)は、中国・韓国向けの輸出を中心に増加しているほか、化学も医薬品を中心に増加が続いている。また、一般機械、鉄鋼・非鉄も持ち直している。一方、繊維、金属製品は低水準で推移している。</p> <p>この間、企業収益は低水準ながら改善の方向にある。また、雇用・所得は依然として厳しい状況にあるが、労働需給は緩やかに持ち直す動きが続いている。</p> <p>先行きは、海外経済の改善や経済対策の効果により、全体として持ち直しの動きが続くとみられる。もっとも、国内民間需要には弱さが残るほか、雇用・所得環境の厳しさは当面続くこととみられる。また、海外経済の不確実性についても注意が必要なため、引き続き慎重にみていく必要がある。</p>